

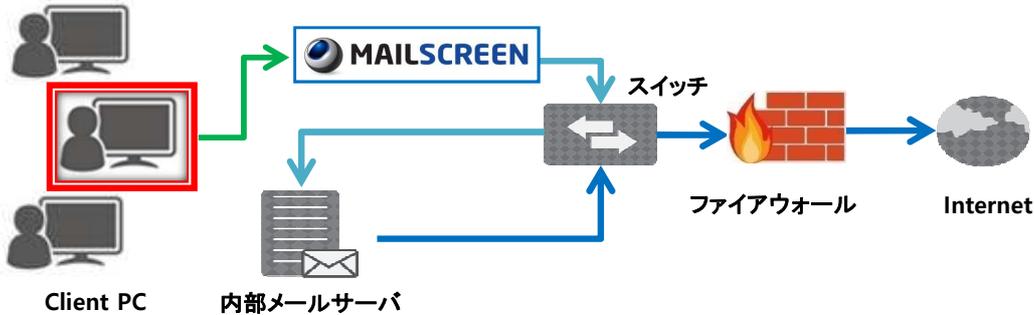
MAILSCREEN クイックスタート

1-0 MAILSCREENの設置方式を決定します。

図では、内部メールサーバーを例としていますが、外部メールサーバーでも同様です。

1)プロキシ方式

メールクライアントの送信サーバーの設定をMAILSCREENにすることで、メールを直接MAILSCREENに送信する方式です。個別の設定になりますので、特定のユーザのみ対象とすることができます。



2)ブリッジ方式

物理的な経路上に設置する方式です。基本的に経路上のユーザはすべて対象となります。

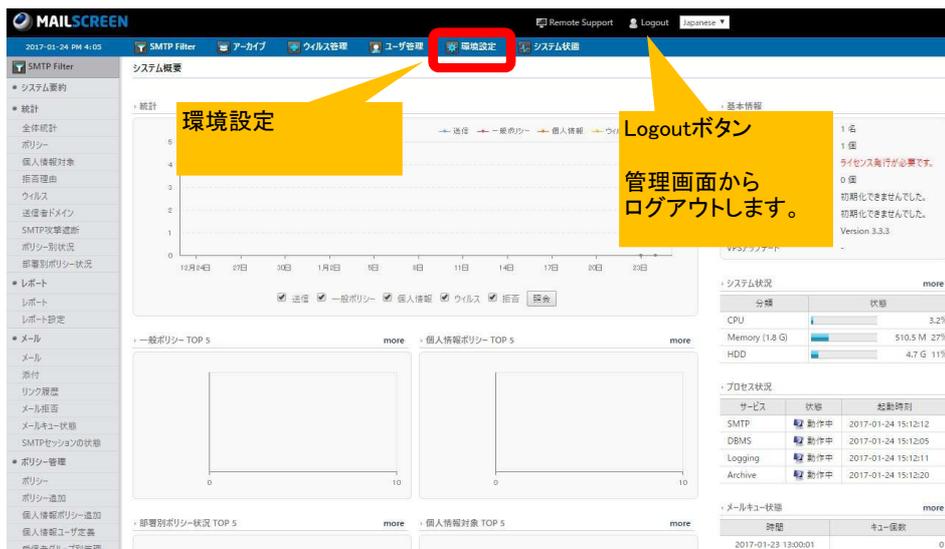


1-1 管理用URL <http://192.168.1.252/> へアクセスします。



1-2 [E-mail], [Password] を入力し、[LOGIN]ボタンを押します。
※入力する[E-mail], [Password] はお問い合わせください

1-3 初期画面が表示されます。
[環境設定]を選択します。



はじめに、基本情報の設定を行います。

1-4 基本情報を設定します。



1-5 ネットワーク設定を行います。画面左メニューより[ネットワーク]を選択します。



ヒアリングシートの情報から

- 1) ネットワーク
本体IPアドレス
サブネットマスク
ゲートウェイ
ネームサーバ1~3
を設定します。

★★プロキシ方式の場合

特に設定をする必要はありません。

★★ブリッジ方式の場合

- 2) SMTPブリッジ
送信元 (ネットワーク情報を入力する)
*192.168.100.0/24 形式で入力
あて先 (ANY固定)
ポート(25,587,465をチェック又は任意のポートを入力)
を設定します。

SMTPブリッジ情報を保存する場合には、必ず右側の[追加]ボタンを押します。

3) 情報を保存する場合には、必ず[設定]ボタンを押します。

1-6 MAILSCREENにアクセスするURLの設定を行います。画面左メニューより[サービス]を選択します。



- 1) MAILSCREENにアクセスするURL、ポートを設定します。

2) 情報を保存する場合には、必ず[設定]ボタンを押します。

1-7 SMTP(メール送信)の設定を行います。

2) 情報を保存する場合には、必ず[設定]ボタンを押します。

1-8 誤送信防止(添付ファイルに関する設定等)の設定を行います。

1) GIGAPOD連携

GIGAPOD連携を使用するか、使用しないかを選択します。

使用しない → MAILSCREEN独自のURLリンクを使用

UTF-8として連携 → GIGAPOD2010以降と連携

Shift-JISとして連携 → GIGAPOD OfficeHardと連携

*ファイルリンク関連、テンプレート(編集可能)、及びエラー処理方法はお客様のポリシーに合わせて任意で設定して下さい。

*独自のURLを使う場合、MAILSCREENを外部からアクセスできるようにする必要があります。

1-9 メールサーバ設定を行います。はじめに[追加]ボタンを押します。

MAILSCREEN Remote Support Logout Japanese

2013-02-07 PM 2:25 かんたん設定 | 全体統計 | メールログ | 添付ログ | リンクログ | イベントログ | システム状態

かんたん設定

メールサーバ

メールを伝達するメールサーバを指定します。

ドメイン 検索

追加 削除 ファイル保存

検索結果が存在しません	サーバIP	ポート	接続方式	送信時のAUTH	AUTH ID	優先順位
Total 0通						1 1行

追加 削除 ファイル保存

1) 追加ボタンを押します。

2) サンプルデータは確認後削除します。

MAILSCREEN Remote Support

2013-02-07 PM 2:26 かんたん設定 | 全体統計 | メールログ | 添付ログ | リンクログ | イベントログ | システム状態

かんたん設定

メールサーバ

メールを伝達するメールサーバを指定します。

ドメイン

サーバIP

ポート

メールサーバの接続方式 SMTP SMTPS STARTTLS

優先順位

メール送信時のSMTP AUTH メール送信時にSMTP AUTHを使用

SMTP AUTH ID

SMTP AUTH パスワード

POP3 サーバ 暗号化接続

保存 取消 接続テスト リセット

3) 情報を保存する場合には、必ず[設定]ボタンを押します。

2) ヒアリングシートの情報からメールサーバの設定をこないます。

ドメイン名、サーバIP、サーバポート、接続方式、優先順位を設定します。

*メールサーバがSMTP AUTH認証の場合さらに以下の情報を設定します。

メール送信時にSMTP AUTHを使用 v(チェック) SMTP AUTH ID/パスワードを設定します。

1-10 リレー設定を行います。

MAILSCREEN Logout Japanese

2010-11-09 PM 12:51 かんたん設定 | 全体統計 | メールログ | 添付ログ | リンクログ | イベントログ | システム状態

かんたん設定

リレー

IP設定

リレーを許可するIPアドレスを指定します。

IPアドレスは長いアドレスのほうが優先されます。例えば"10.*"と"10.0.0.1"を同時に登録する場合"10.0.0.1"が優先適用されます。

IP: 区分: allow deny 登録

削除

IPアドレス	区分
127.0.0.1	allow

Total 1通

1 1行

1) IPアドレス、区分を登録します。
ヒアリングシートの情報から社内ネットワーク情報を登録します。

192.168.100.0/24の場合
192.168.100. と入力します。
(0までは入力しない。)

区分は、allowを選択します。

2) 情報を保存する場合には、必ず[登録]ボタンを押します。
一覧にIPアドレスが追加されます。

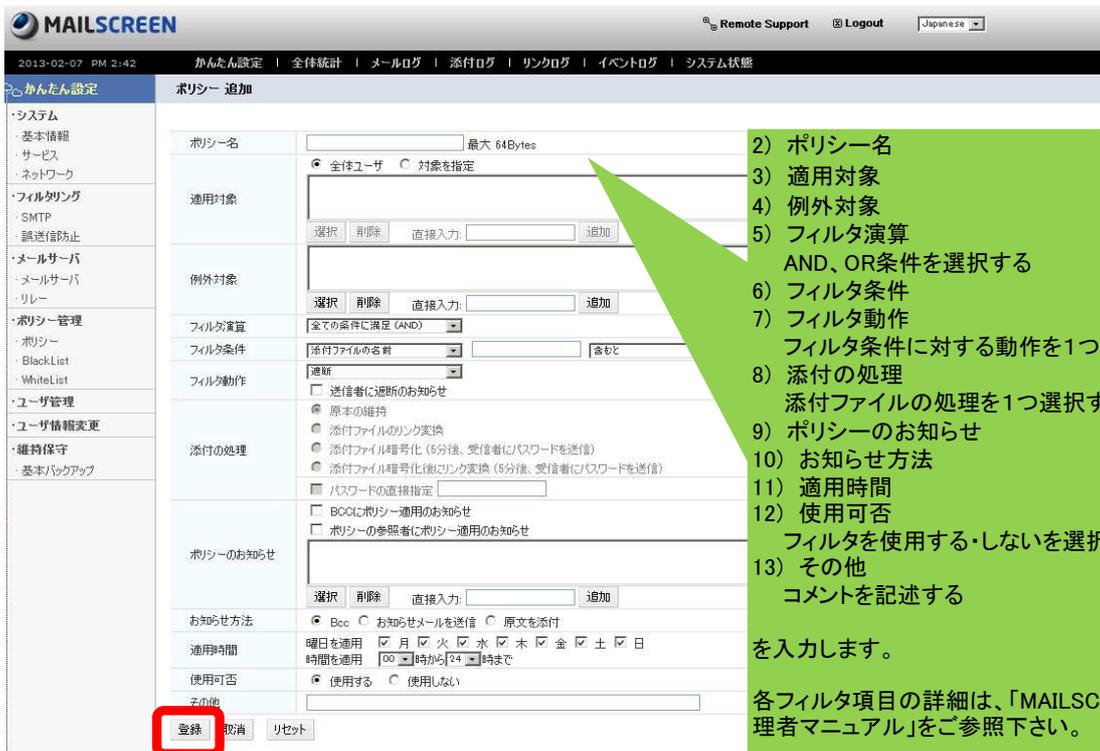
1-11 ポリシーの設定を行います。
[SMTP Filter]を選択します。



1) ポリシー追加ボタンを押します。

フィルタ条件は、お客様のポリシーに従い、必要な条件を任意で設定して下さい。
各フィルタの詳細は、「MAILSCREEN 管理者マニュアル」をご参照下さい。

ポリシー登録画面



- 2) ポリシー名
- 3) 適用対象
- 4) 例外対象
- 5) フィルタ演算
AND、OR条件を選択する
- 6) フィルタ条件
- 7) フィルタ動作
フィルタ条件に対する動作を1つ選択する
- 8) 添付の処理
添付ファイルの処理を1つ選択する
- 9) ポリシーのお知らせ
- 10) お知らせ方法
- 11) 適用時間
- 12) 使用可否
フィルタを使用する・しないを選択する
- 13) その他
コメントを記述する

を入力します。
各フィルタ項目の詳細は、「MAILSCREEN 管理者マニュアル」をご参照下さい。

14) フィルタ情報を登録する場合には、必ず[登録]ボタンを押します。

1-12 ユーザの登録を行います。

[ユーザ管理]を選択します。

このユーザは、MAILSCREENを管理するためのスーパー管理者となります。

また、管理者宛での通知メールや日々のレポートメールもこのEメールに送信されます。

ユーザ管理

最終同期化時間：人事情報が初期化されませんでした。

社員番号	名前	所属	決裁者	例外	権限	登録日
	Administrator (admin@exampl...			N	スーパー管理者	2017-01-23

Total: 1 件

削除 追加 ファイル保存

名前 検索

1) 追加ボタンを押します。

ユーザ追加

2) Eメールアドレスを入力します。
*メールが受取れる管理者のメールアドレスです。

3) 権限
"スーパー管理者"を選択します。

4) 言語
"Japanese"を選択します。

5) パスワードを入力します。
*パスワードは8文字以上、20文字以下で入力してください。

6) 確認用パスワードを入力します。

7) 必要であれば、社員番号、名前、役職を入力します。

8) 所属
会社名または部署名を入力します。

*スーパー管理者には、日次レポート、システム警告メールなどが配信されます。

8) 情報を保存する場合には、必ず [保存] ボタンを押します。

1-13 一旦、ログアウトし、新しく登録した管理者のEメール、パスワードでログインし直します。

ログインができれば、設定は完了です。

(*) 出荷時に登録されているユーザは、お客様の管理者ユーザが登録されログインができましたら不要ですので削除して頂いて結構です。

1-14 その他 機能について

[SMTP Filter]を選択します。

[メール]では、送信したメールのログを参照することができます。

The screenshot shows the MAILSCREEN web interface. The top navigation bar includes 'SMTP Filter', 'アーカイブ', 'ウイルス管理', 'ユーザ管理', '環境設定', and 'システム状態'. The left sidebar has a menu with 'メール' highlighted in a red box. The main content area shows the 'メール' (Mail) page, which includes search filters for date and time, and a table of mail logs. The table has columns for '削除', '日付', 'メール処理', '送信結果', '承認', and '部下'. Below the table, it indicates 'Total: 0件' and '結果が存在しません'.

2-1 本体終了手順について

[環境設定]を選択します。

本体を終了または再起動する場合には[サービス]を選択します。

The screenshot shows the MAILSCREEN web interface. The top navigation bar includes 'SMTP Filter', 'アーカイブ', 'ウイルス管理', 'ユーザ管理', '環境設定', and 'システム状態'. The left sidebar has a menu with 'サービス' (Services) highlighted in a red box. The main content area shows the 'サービス' (Services) page, which includes settings for 'Webサーバ' and 'プロキシサーバ'. Below the settings, there is a table with columns for 'サービス' (Service), 'コマンド' (Command), and '状態' (Status). The table has three rows: 'システム' (System), 'SMTPフィルタリング-エンジン' (SMTP Filtering Engine), and 'データベース' (Database). The 'システム' row is highlighted in a red box, showing '終了' (Stop) and '再起動' (Restart) buttons, and a status of '動作中' (Running).

「サービス」の中から「システム」で動作を選択します。

終了 → 本体を終了します。本体の電源オフになります。

再起動 → 本体を再起動します。

3-1 設定情報のバックアップ/リストア方法について

MAILSCREENの設定情報をバックアップ、リストアすることができます。

バックアップ/リストアを行うには、[環境設定]-[維持保守]-[基本バックアップ]を選択します。

※基本バックアップでは、各種基本設定情報、フィルタ情報がバックアップされます。
ネットワーク情報、メールデータ、DBデータバックアップしません。



1) バックアップを行うには、[ファイル保存] ボタンを押下する。

★バックアップの種類

- 圧縮後に暗号化を行う: バックアップファイルを圧縮後、暗号化する (dat形式でのバックアップとなる)
- 圧縮のみを行う: バックアップファイルを圧縮のみ行います (tar.gz形式でのバックアップとなる。)

2) ファイル保存のダイアログが表示されます。

画面の表示に従い、ローカルPCの任意のフォルダにバックアップファイルを保存します。



★バックアップファイルの命名規則

backup_config_[バージョン]_[バックアップ取得日付]_[MAILSCREENのIPアドレス].[dat/tar.gz]

ex) backup_config_2_1_4_20111115_192_168_1_252.dat

3-2 設定情報のリストア方法

1) バックアップファイルから設定情報のリストアを行うには、復元の[ファイルを参照] ボタンを押下してリストアするバックアップファイルを指定し、[アップロード]ボタンを押下します。

※基本バックアップのデータリストア作業は、必ず同じバージョンでバックアップされたデータを使用します。
もし下位バージョンや上位バージョンでバックアップされたデータをリストアする場合、リストアできないこともあるので注意してください。

このような理由から、基本バックアップは、設定変更、バージョンアップなどMAILSCREEN本体に何らかの変更があった場合には必ず取得するようにしてください。



リストアップ中の画面



※リストアップの場合には、処理が完了したら、一度現行ブラウザを閉じます。

4) システム情報を反映するため、システムを再起動します。

システム再起動方法は、[2-1 本体終了手順について] をご参照ください。

※リストアップした場合には、必ずシステムの再起動を行ってください。